

いつくしま 厳島の戦い

神の島の大ぎやくてん



厳島は、安芸の国（今の広島県）にある、海の中に大きな鳥居が立つ神の島です。一五五五年、この島で毛利元就と陶晴賢が戦いました。晴賢は、つかえていた大名をたおして力をにぎった武将で、軍はおよそ二万人。対する元就の軍は、わずか四千人ほどでした。

元就は、ちえで戦います。まず厳島に宮尾城という小さな城を建てて、わざとてきをさそいます。せまい島では、大軍は思うように動けないからです。（ ）、晴賢は二万の軍で島にわたり、宮尾城をかこみました。

元就が動いたのは、あらしの夜でした。だれも海をわたれないと思った夜、味方の村上水軍（海の武士たち）が船を出し、元就の軍は島のうら側にたどり着いたのです。翌朝、山をこえ、陶軍のうしろから一気にせめかかりました。ふいをつかれた陶軍は大こんらんとなり、晴賢はやぶれました。

この戦いは「日本三大きしゅう（ふいうち）」の一つです。勝利した元就は、やがて中国地方のほとんどもおさめる大名になります。そして、神の島を大切に、厳島神社を守り続けました。

せんとく(1)

文しように合うものはどれですか？

選んで○をつけましょう。

① 元就の軍は陶軍より多かった

② 元就はあらしの夜に海をわたった

③ 晴賢は宮尾城で勝った

せんとく(2)

文しよの（ ）に入る言葉はどれですか？

選んで○をつけましょう。

① ねらいどおり

② ところが

③ たとえば

きじゅつ(1)

元就を助けた水軍は、何といいますか？

きじゅつ(2)

元就が厳島に建てた城は、何でしょうか？

漢字

漢字に直して書きましょう。

(1) あぶら

(2) しお

(3) さら

--	--	--

こたえ

いづくしま
敵島の戦い

せんたく

(1) ②
(2) ①

きじゅつ

(1) 村上水軍
むらかみすいぐん

(2) 宮尾城
みやおじょう

漢字
かんじ

(1) 油
あぶら

(2) 塩
しお

(3) 皿
さじ